

令和6年度 第1回学校運営協議会 議事録

(1) 開会

①開会あいさつ〈校長〉

・昨年度はアフターコロナ、ウイズコロナがキーワードであったが、今年度は予定どおり行事も実施でき、スムーズなスタートがきれている。家庭、地域と連携して、コミュニティースクールをさらに充実発展させていきたい。

②委員任命および自己紹介

- ・代表委員に任命書を授与
- ・名簿順に各委員より自己紹介
- ・事務局員の自己紹介

(2) 説明〈事務局〉

①会長の選任 あいさつ

・事務局からの提案で中野委員を推薦、全員賛成により決定、進行を中野会長にお願いする。

②本年度のスケジュール（予定）説明

- ・今年度の学校運営協議会年間計画についてスケジュール表をもとに説明（事務局）
- ・本年度は今までの取り組みを整理して、活動内容を2グループに分け（防災・安全プロジェクト、地域活用プロジェクト）役割分担を明確にして、効率的継続的に進めていけるようにする。
- ・地域学校協働活動推進本部は地域学校協働活動推進委員2名に加わっていただき、本校のボランティア全般の業務を円滑に進めていけるようにする。

(3) 協議Ⅰ〈進行：会長〉

①令和6年度学校経営計画について〈校長〉

・資料をもとに説明、学校教育目標は昨年度と同じ。重点目標5点について説明。

- 1 キャリア教育の視点に立った教育活動の推進（「夢育」の推進）
 - ・合同学習の充実に力を入れている。異学年、異学部
- 2 子どもたちの学びを深めるための授業力・専門性の向上
 - ・変化の多い世の中で生きていくために必要な力の育成
- 3 安心安全な学校づくりのための教育環境の整備
 - ・子どもたちが安心して過ごせる学校
- 4 地域と連携した教育活動と特別支援教育のセンター的機能の充実
 - ・学校と地域が連携したうえでの学校教育活動
- 5 学校運営組織の活性化による働きやすい職場づくりの推進
 - ・教職員の働き方改革、別紙（リーフレット）、
 - ・教職員のコンプライアンスにも力を入れている

質疑応答〈会長〉

- ・質問なし。初めて協議会に参加した委員の方もいるので、特別支援教育とは何かというところをまた今後説明していただきたい。

(4) 校内見学、校内安全点検

- ・各教頭が校内を案内し、児童生徒の活動を紹介する。本校敷地内の建物配置や専門教室等も確認してもらう。

(5) 協議2

①本年度の生徒指導関係の取り組みについて〈担当教頭〉

- ・いじめ対策基本方針といじめ対策委員会を中心に、本校の取り組みについて詳しく説明する。学校生活アンケートと教育相談を定期的実施し、SOSを早くキャッチして対応できるような体制を整えている。PTA総会やホームページで周知している。
- ・いじめが起きた時にはいじめ対策委員会の中の実務部を中心に早期に対応している。
- ・年間指導計画に位置付けて確実に指導を行っている。
- ・スマホによる嫌な思いをしている生徒がいる。関係機関に協力を依頼しての研修を計画中。
- ・人権教育の指導方針と全体計画、人権週間などを設定せず、日頃からの関わりの中で人権意識を高められるように指導・支援している。
- ・人権教育の年間指導計画、指導目標を確認する。

質疑応答〈会長〉特に質問なし。

②コミュニティースクールについて〈副校長〉

- ・スライドをもとに説明する。
- ・地域と共にできること、いまある「人」「もの」「こと」を有効活用。
- ・実際の活動についての説明（意見交換、地域協働活動の推進、活性化プロジェクト）
- ・今ある活動を今ある力を使って「共につくる」
- ・「防災・安全プロジェクト」「地域活用プロジェクト」で役割分担を明確にして、コミュニティースクールの活性化。「効率化と継続可能」がキーワード。

③グループ協議（2つのプロジェクトに分かれて）

- ・各部ループに分かれて積極的な意見交換がされる。

【地域活用プロジェクト】

- ・地域型実習（学んだ力を外で貢献できる機会）
- ・地域で活躍できる機会（販売学習）
- ・おかげ市、中央公民館、味彩館、各種イベント、花火大会等での置き販売
- ・本校作業学習のサポートボランティア（さをり織を製品化等）
- ・就労に向けた取り組み
- ・具体的な移動手段など

【防災・安全プロジェクト】

- ・信頼関係構築
- ・地域の方が学校の活動に関わる機会
- ・地域の福祉避難所としての役割（地域の方への本校敷地内様子を周知、環境の確認等）
- ・本校の訓練等での関わり
- ・地域の消防団の放水活動
- ・炊き出し（実際の動き、場所の確認）
- ・せいび夏祭りでの交流

④発表

- ・「地域活用プロジェクト」地域型実習の新規場所についての可能性提案、校外販売の場所の提案、外部講師・ボランティアの受け入れについて
- ・「防災・安全プロジェクト」避難訓練、引き渡し訓練、不審者対応訓練などで地域と協力してできることはあるのか、炊き出し（地域の方の協力を得て）、地域の消防団の方にきていただいての放水活動

（６）指導助言

委員 A：具体的な話ができてよかった。運動会のボランティアについて報告したら、喜ばれた。

さらに協力できる

委員 B：支援学校がどのようなところかわかってよかった。協力できることをしていきたい。

委員 C：学校の子も達のために地域住民として積極的に協力していきたい。

委員 D：学校の様子がわかった。所属するグループを使って協力したい。

委員 E：今日の内容を保護者に伝えていきたい。子ども達が安心して活動できるように。お祭りに協力してほしい。

委員 F：話し合ったことを、今後同具現化するか。

委員 G：外部のいろいろな意見を取り入れていくことが大切。よりせいびの子ども達のために協力をしていきたい。

（７）その他・連絡

地域学校協働本部より

- ・本年度のボランティア活用状況の報告と今後のボランティア募集への協力について依頼。

（８）閉会

①会長あいさつ

- ・活発な意見交換ができた。新たな取り組みとしてより協力していきたい。